

「ふれあい広場」の各コーナーで紹介する人を募集します。自薦他薦は問いません。日ごろ感じている意見や質問なども募集しています。
あて先=〒028-0592 遠野市東館町8番12号
市政企画室(☎@2111内線235)

ふれあい広場

ともに歩んで 半世紀

15 宮守町

佐藤 昇 さん (73歳)

スガ子 さん (71歳)



和牛を育てることと晩酌
孫とまんじゅう作り

結婚のとき、五十年の思い出は、
(昇) 父親同士が決めました。式の日に、近所の人たちが障子に穴をあけて花嫁を見る様子を見ていたのを覚えています。
(スガ子) 結婚式のときに初めて会いました。写真を撮りに行ったら停電で、式のため家に着いたときには暗くなっていて、顔が見えませんでした。
(昇) 父親が弱かったため三十代で家業を任せられたために働いてきました。

「スガ子」あつという間の五十年。しきたりの違う所で、地域の人たちと助け合っただけでした。仲間はいいもの。
「昇」和牛を飼っていて、これを育てることと昼いっばい稼いだ後の晩酌です。
(スガ子) 孫と一緒にまんじゅう作りをしています。孫の成長が楽しみです。
(昇) 今までたくさん働いてきました。長生きして家族に手伝っていきましよう。
(スガ子) 好きなものは飲んでいいから体悪くしないように、わきあいあいとおごしていきましよう。

◆お仕事は…昨年2月に宮城県からIターンで遠野に来ました。現在は「で・くらす遠野」で働いています。
◆趣味は…街中で目にとまったものを写真におさめること。
◆休日の過ごし方は…まだ行ったことが無い市内の名所を探検しています。
◆自己分析すると…マイペース。
◆好きな男性のタイプ…芯のしっかりしている人。
◆将来の夢は…遠野の伝統や文化を1つでも身に付けて、自分の子どもに伝えていけるようになります。

青春のトーク

15



遠野の文化を伝えていきたい
小関 詩穂さん
大工町・26歳・A型・で・くらす遠野



おじゃまします サークル クラブ 紹介

7 グループわらべ
たくさんの親子に、伝承遊びの楽しさを伝えたい

市民センター主催の婦人ボランティア講座の受講生が集まり、昭和六十三年四月に結成。会員は十一人。
遠野に伝わる昔話の読み聞かせや、お手玉などの伝承遊びを伝える活動をしています。月に一度、図書館で開く読み聞かせ会のほか、小学校や児童館、ふれあいホームにも出掛けています。また、ファンタジーなどの催しの際には、託児ボランティアもしています。

「読み聞かせに使う紙芝居やおもちゃはすべて手作り。昔話やお手玉、物作りなど、いろいろな分野の特技を持っている人が集まった楽しい仲間です」と話すのは会長の佐々木文子さん(早瀬町)。
今年、講師を招いて勉強会を開くことや、紙芝居を新しく作製することを目標としています。
「依頼があれば、どこでも出掛けます。これからも楽しみながら、みんなの特技を生かした活動をしていきたいです」と笑顔で話していました。

風の人

毎年「風の丘」でおしば美術の個展を開催

遠野に居られることが幸せ

手塚 素蓉 さん (横浜市在住・65歳)



横浜市のカルチャースクールで「おしば美術」を指導する手塚さんは、毎年遠野まつりの時期に合わせて道の駅「風の丘」で個展を開いています。
『初めて遠野を訪れた時、風の丘のテラスから望む景色の素晴らしさに涙が出るほど感動しました。この場所で個展を開きたいと、その瞬間に思いました』
個展は昨年の九月で五回目。作品の売り上げの一部を、毎年遠野まつりの運営にと寄付を続けています。

大きくなったら何になりたい？

ひとこと インタビュー



菊池 典也 くん
(宮守小・1年)

ゲーム屋さんになって、おもしろいゲームをたくさん売りたいです。家では、皿洗いのお手伝いをしています。



河野 美月 ちゃん
(宮守小・1年)

お花屋さんになって、きれいなお花を売りたいです。国語の勉強が好きです。自分の名前も漢字で書けます。



安部 紫生 ちゃん
(小友小・1年)

ケーキ屋さんになって、イチゴがいっぱいのおいしいケーキを作りたいです。家ではアイロンがけのお手伝いをします。



小松 和樹 くん
(小友小・1年)

昆虫が大好きなので、昆虫博士になりたいです。体育の勉強が大好きで、側転が得意です。

『毎年、遠野まつりと風の丘で開く個展が楽しみです。遠野が無かったら、ここまで作品を作ることができなかったかもしれない。景色や、会う人の笑顔の素晴らしさは、都会では絶対に感じる事ができないもの。年に一度や二度でもいいから、そこに自分も居たいと思っています』
来年もまた太鼓や笛の音が鳴り響く季節に、手塚さんの作品がふるさと遠野に彩りを添えることでしょう。